ドーム型 WDR カラーカメラ取扱説明書

WDR Dome Camera

TH-D900VP（52 万画素　f=3.0～9mm　DC12V/電源重畳式）

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは禁じられております。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

■安全上のご注意

ご利用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しく使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容なので、必ずお守りください。

■表示について

この取扱説明書及び商品は、本機を安全に正しくお使い頂くためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
注意	取扱いを誤った場合、人が損害を負う危険が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について

	「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。
	「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。
	「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。

ご使用上の注意

	⚠ 警 告
	・本体を分解、または改造しないでください。火事、感電の原因となります。 修理や点検は販売店にご連絡ください。
	・異物を入れないでください。水や金属が内部に入ると火災や感電の原因となります。 ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。 ・熱器具や直射日光などに当たる場所等に近づけないでください。 キャビネットが変形したり、内部が高温になり、火事の原因になります。 ・可燃性雰囲気中で使用しないでください。爆発し、けがの原因になります。 ・塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。 取付部が劣化して、落下などの事故の原因になります。 ・この機器を使用できるのは日本国内のみです。
	・設置は必ず販売店にご依頼ください。設置は技術と経験が必要です。 火災・感電、けが、器物破損の原因となります。 ・煙が出ている、変な音や臭いがするなど、故障状態のまま使用すると、火災、感電、落下による けがの原因になります。放置せずにただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。 ・ねじや固定機構はしっかりと締めつけてください。 締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。 ・総重量に耐える場所に取り付けてください。 取り付け場所の強度が不十分なとき、落下などでけがの原因になります。 十分な強度に補強してから取り付けてください。 ・定期的に点検してください。金属やねじが錆びると、落下などで けがの原因になります。点検は販売店にご連絡ください。
	雷が鳴り始めたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因になります。

	・各機器の接続は、電源を切って行ってください。 感電・火災の原因になります。 ・持ち運びやお手入れの際は、電源やケーブル類をはずして行ってください。 落下、転倒などでけがの原因になります。 ・長時間この機器をご使用にならない時は、安全の為に必ず接続されている電源のスイッチを 切ってください。火災の原因となることがあります。

もくじ

項目　ページ

はじめに 5
使用上のご注意 5
各部の名称と機能 / カバー・ロックプレートの着脱方法 6
接続　電源 8
取付・調整方法 9
各種機能の設定 10
メニュー構成図1 10
メニュー構成図2 11
メニュー構成図3 12
設定方法 13
設定操作 13
設定項目 14
露出設定 14
ホワイトバランス設定 15
デイ＆ナイト設定 16
エフェクト設定 16
モーション設定 17
プライバシー設定 18
エンハンス設定 19
システム設定 19
終了設定 20
仕様 21
保守・点検 22
外形寸法図 23
保証・アフターサービス 24

はじめに

　このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。
本機は、ハイエンドなセキュリティを考慮して開発された多機能・高性能なCCDカメラです。
本カメラの特長は以下のとおりです。

⑴AI バリファーカルレンズ内蔵(f=3.0～9mm F1．2)のドーム型 WDR カラーカメラ
⑵電源重畳（ワンケーブル）・DC12V を自動選択する 2 ウェイ方式
⑶超高感度CCD、および電子感度アップで超低照度での撮影を実現しました。
⑷3 次元デジタルノイズリダクション機能を搭載
⑸デイナイト機能　※赤外線 LED は使えません
　本機能は昼は高品質なカラー映像、夜は鮮明な白黒映像で表示することができます。
⑹明るい被写体と暗い被写体を同時に撮像できるワイドダイナミックレンジ補正機能を搭載
⑺OSD（オンスクリーン表示）機能を搭載
⑻水平解像度 700TV 本の高解像度

使用上のご注意

＜使用・保管場所＞

本機は屋内用カメラです。屋外での使用は避けてください。
使用有無にかかわらず、非常に明るい被写体(照明や太陽など)にカメラを向けないでください。
また、次のような場所での使用や保管は避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所
- 湿気やほこりの多い所
- 雨や水のあたる所
- 激しく振動する所
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

＜お手入れ＞

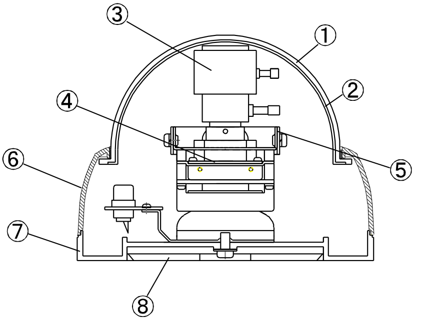
- キャビネットの汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。ひどい汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭取った後、空拭きして下さい。汚れを拭取る時は、電源プラグを抜いて下さい。
  アルコール、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。表面の仕上げをいためることがあります。
- CCD の表面に触れないで下さい。ほこりが付着している場合は、レンズクリーニングペーパーで拭きとってください。

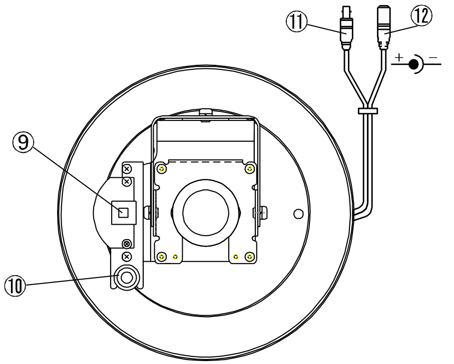
＜その他＞

- 撮像素子の特性で画面上に白点が現れることがありますが、故障ではありません。
  また、電子感度UP機能（SENS UP）使用時は顕著に白点が発生しますが、異常ではありません。
- 光源によっては実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
- 高輝度の被写体(ランプなど)を撮影したとき、画面上の高輝度の被写体の上下方向に縦縞が発生することがありますが、撮像素子の特性で故障ではありません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、電池消耗等に起因するデータの消失による、損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称と機能 /カバー・ロックプレートの着脱方法

■カメラ本体



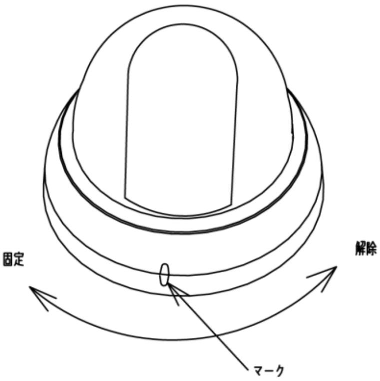


①透明カバー(外カバー) ………インナーカバーと一体化されており、水平方向に 360° 可変出来ます。
②インナーカバー……………黒色のインナーカバーです。
③AI バリフォーカルレンズ‥……f 3～9mmF=1. 2 のオートアイリスバリフォーカルレンズを搭載
④カメラ本体…………………レンズ付カメラ基板などで構成されます。
⑤調整アングル………………カメラを垂直水平方向に微調整する為のアングルです。
⑥カバーケース………………透明カバー/インナーカバーがセットされています。
⑦ボトムケース………………カメラ部が搭載されています。
⑧ロックプレート………………設置面に取付するためのプレートです。
⑨OSD機能選択スイッチ………各機能の設定を行うためのボタンです。
⑩モニター出力端子…………画角の調整に使用します。
⑪BNC 映像出力端子…………モニターや録画機器に接続します。
電源重畳としてご使用の場合は専用ドライブユニットと接続します。
⑫DC12V 電源入力……………DC12V の電源入力端子です。2.1 φDC ジャック
※プラグは芯側が＋です。※逆接にご注意下さい。
※電源重畳時には使用しないで下さい。

■カバーケースの着脱方法
出荷状態ではカバーケースとボトムケースにあるマークが一致
しています。

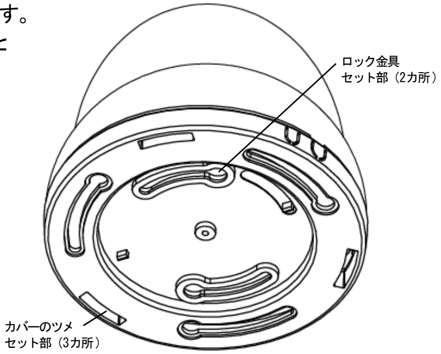
カバーケースの取り外しはカバーケースを反時計まわり（解除）の
方向に廻して取り外します。

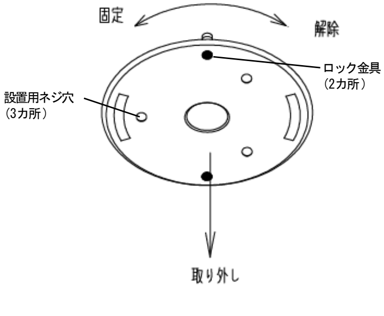
取り付けは、カバーとボトムのマークがある向きを合わせ、カバー
ケースのツメをボトムケースのツメをセットする穴に差し込みます。
カバーケースを時計まわりに廻すと、マークが合う位置でカバー
ケースが固定されます。



■ロックプレートの着脱方法
出荷状態ではロックプレートはボトウケースに固定されています。
取り外しは、プレートを押さえながら時計まわり（解除）に廻すと
ロックが外れ、取り外せます。

取り付けは、カメラ設置状態で行います。
ボトムケースを差し込んで廻します。
「取付・調整方法」の頁を参照ください。





接続 電源

本機は電源重畳配線(ワンケーブル)とDC12V のどちらの方式でも使用できます。

警告 本機に電源ケーブルを接続時、電源ケーブルが短絡しないように気をつけてください。

電源重畳の接続

専用ドライブユニット TH-CCU シリーズで必ずご使用ください。それ以外の接続は故障の原因となりますので
おやめ下さい。
電源重畳配線をする時はDC電源(DC12V)を接続しないで下さい。故障の原因となります。

注意
同軸コネクタとケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
同軸ケーブルの芯線と網線とは触れていないことを確認してください。
もし芯線と網線が触れていると電極がショートして故障しますのでご注意下さい。

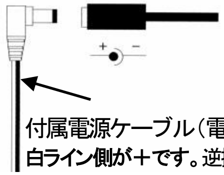
配線距離
専用ドライブユニット(TH-CCU シリーズ)の背面スイッチにより異なります
スイッチ:SHORT 側 3C－2V:最大170m、5C－2V:最大300m
スイッチ:LONG 側 3C－2V:最大250m、5C－2V:最大500m

DC電源の接続

DC12V(±10%)でご利用ください。
ヒューズが必要な場合は、電源端子 10cm 以内(+端子側) にスローブロー型のヒューズを挿入してください。

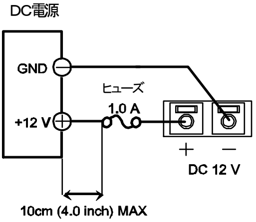
注意
電源の極性に注意してください。
電源は本機 1 台につき 140mA の消費電流の供給能力が必要です。
電源コードを選択・接続の際は、下記内容に注意してください。
①電源コードの許容電流
②電源コードのサイズや長さによるケーブル損失

■付属電源ケーブル
電源入力端子に中継させて、DC12V のカメラ電源ユニットへと接続します。



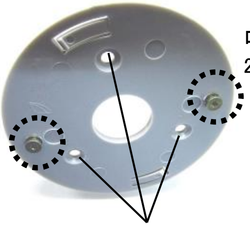
電源入力端子(ドームカメラ本体より)

付属電源ケーブル(電源ユニットへ)
白ライン側が＋です。逆接には十分ご注意ください。



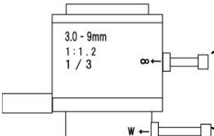
取付・調整方法

① P7 ページの『ロックプレート着脱方法』の項目で取り外したロックプレートを、天井面に付属ネジで 3 箇所ネジどめして設置します。
ボトムケース底面のケーブルを溝に押し込みながら、ロックプレートのロック金具をボトム側のロック金具セット部に差し込み、ボトムケースを時計まわりに廻し、カメラを設置します。



② 映像ケーブルと電源ケーブルを接続し、映像をモニタリングしながらカメラ部の調整アングルを上下、左右、パンの各方向に動かしてして角度を調整します。

③ 下記項目に基づいて画角、ピント調整を行います。
A：レンズのツマミを左に回しながらゆるめてロックを解除させます。
B：画角調整ツマミを左右に回転させて画角を選択します。
『T』『TELE』方向に回すと画角が狭くなり『W』『WIDE』方向に回すと画角は広くなります。
焦点距離の範囲内で調整ができます。
C：フォーカス調整ツマミを左に回しながらゆるめてロックを解除させます。
D：リングを左右に回転させてピントを合わします。
∞（FAR）方向から N（NEAR）方向に回すほどピントが合いやすくなります。
E：画角、ピントが設定完了したら、各固定ツマミを右方向に回して位置を固定(ロック)させます。

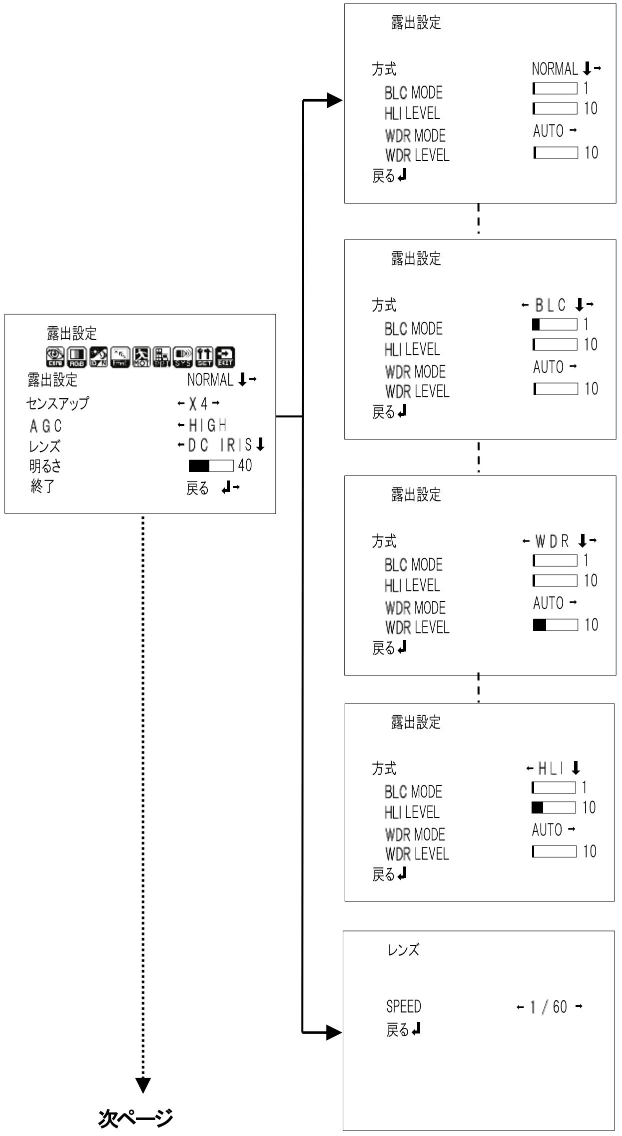


④ 必要に応じてOSDの機能設定を行い、最終画像を確認して問題がなければカバーケースを取り付けて作業完了です。

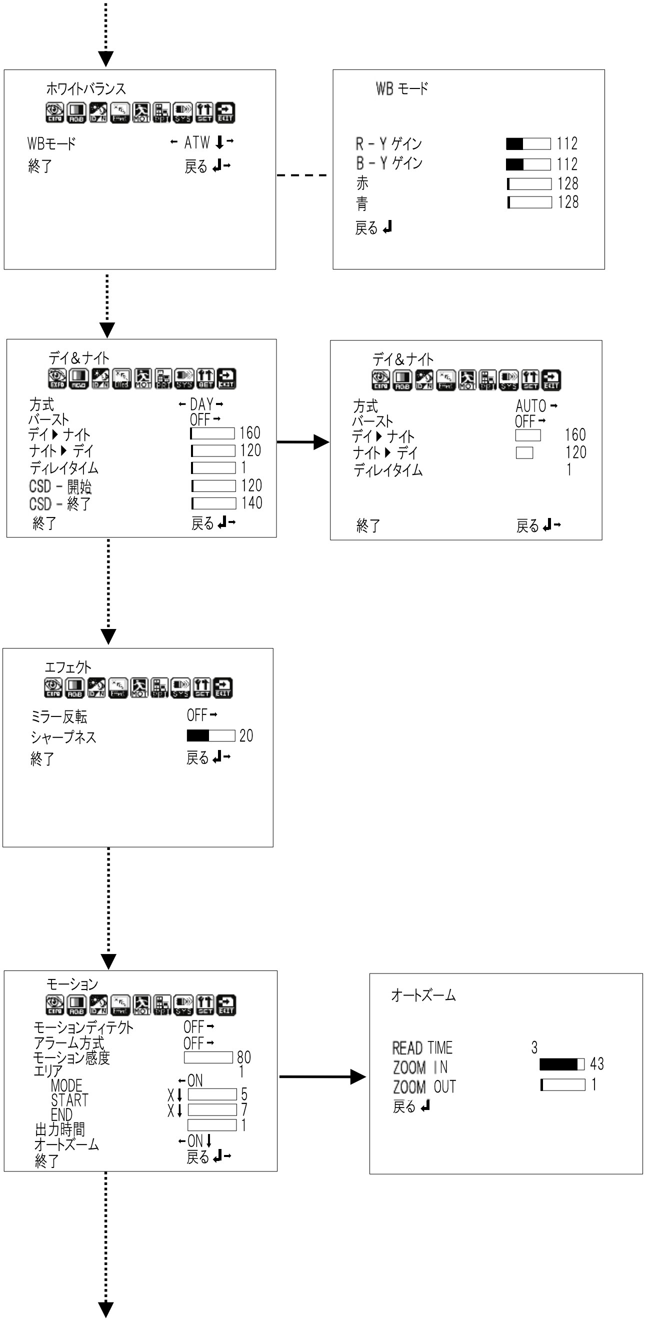
各種機能の設定

本機はOSD（オンスクリーン表示）機能を搭載し、モニター画面にてカメラの各機能を設定できます。
設定メニューの一覧は下記の通りです。
注）以下の図は、言語メニューで日本語を選択した画面になります。

メニュー構成図1

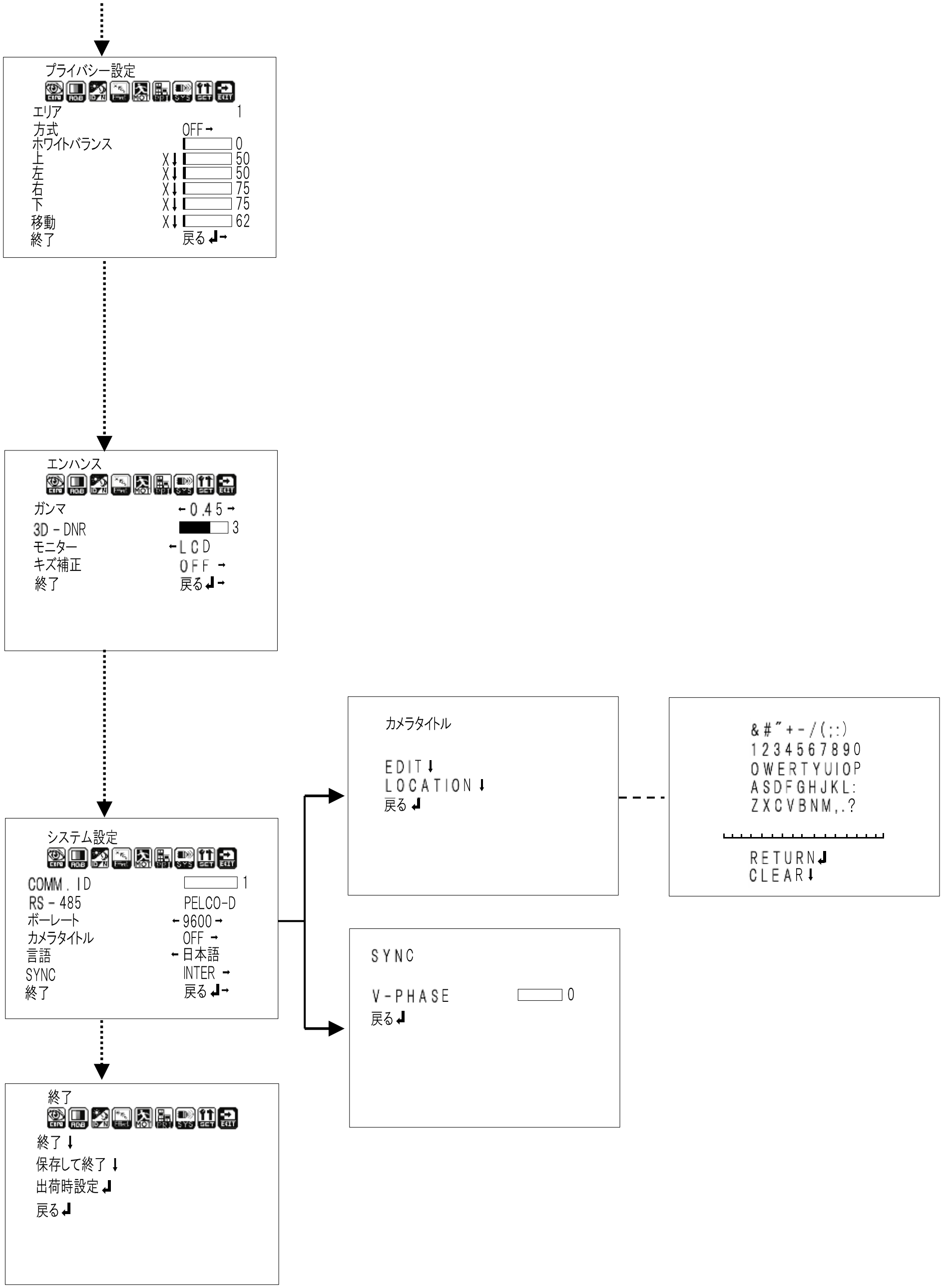


メニュー構成図2



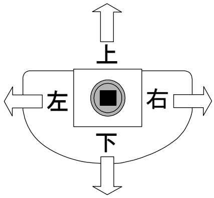
次ページ

メニュー構成図 3


プライバシー設定
エリア 1
方式 OFF
ホワイトバランス 0
上 X 50
左 X 50
右 X 75
下 X 75
移動 X 62
終了 戻る
エンハンス
ガンマ 0.45
3D - DNR 3
モニター LCD
キズ補正 OFF
終了 戻る
システム設定
COMM . ID 1
RS - 485 PELCO-D
ボーレート 9600
カメラタイトル OFF
言語 日本語
SYNC INTER
終了 戻る
カメラタイトル
EDIT
LOCATION
戻る
& # " + - / (; :)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
O W E R T Y U I O P
A S D F G H J K L :
Z X C V B N M , . ?
RETURN
CLEAR
SYNC
V-PHASE 0
戻る
終了
終了
保存して終了
出荷時設定
戻る

設定方法

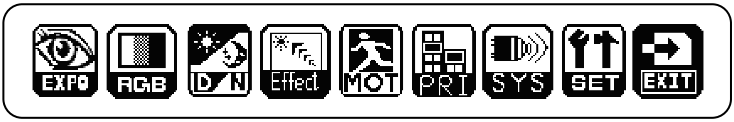
本機はOSD機能を備えており、撮影場所の条件に合わせて各種機能を設定することができます。
レンズ脇にOSD操作ボタンがあり、押すとメインメニュー(メニューアイコン画面)が表示されます。
選択しているアイコンは青色表示され、左右へ傾けるとそれぞれの方向へ移動します。



設定操作

設定を変更するには次のように操作します。
1. OSDボタンを押すと下図のようなメインメニュー(メニューアイコン画面)が表示されます。
2. OSDボタンを左右に傾け、設定を変更したい項目が含まれるアイコンの色が変わったら、
 もう一度OSDボタンを押します。
3. OSDボタンを上下に傾け、変更したい項目に合わせます。
4. 設定値を調整します。
5. 各メニュー画面にある「終了」項目で、OSDボタンを左右に傾け下記のいずれかを選択します。
 「戻る」: 設定変更し、メインメニューに戻る場合
 「終了」: 設定変更せず(変更を保存せずに)、メインメニューを終了する場合
 「保存して終了」は、設定変更した内容を保存し、メインメニューを終了する場合
6. 複数の設定項目を変更し、保存してメインメニューを終了する場合は、メインメニュー「EXIT」設定に入り
 「保存して終了」を選択してメニュー画面を終了します。
 ※「終了」を選択した場合、設定内容は保存されませんので、ご注意下さい。
 ※「工場出荷時」の状態に戻ります。ただし出荷時の設定値が無い項目がありますのでご注意下さい。

メインメニュー



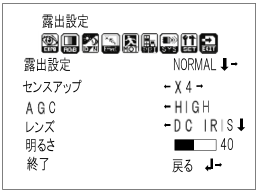
Note) 1分間メニューを操作しない場合は、自動的にメニューが消えます。

設定項目

露出設定

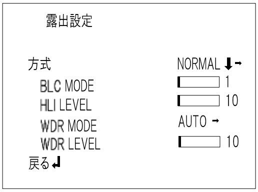
露出設定

露出方式を NORMAL、BLC、WDR、HLI より選択します。



露出設定画面

NORMAL:通常の撮像を行う場合に選択します。
BLC:逆光補正を行う場合に選択します。
調整範囲は 0～3 です。
WDR:強い逆光時に黒つぶれとなる被写体をデジタル処理し、
全体の映像を明瞭に補正します。
AUTO と ON から選択します。
ON を選択した場合は、WDR LEVEL を調整します。
調整範囲は 0～20 です。



露出方式設定画面

センスアップ

電子感度アップの設定を行います。
OFF、X2、X4、X8、X16、X32、X64、X128、X256、X512、X1024 より
選択します。
工場出荷時は X4 に設定されています。

AGC

オートゲインコントロールの設定を行います。
OFF / LOW / MIDDLE / HIGH より選択します。

レンズ

レンズの設定を行います。
DC IRIS か ELECTR を選択します。
DC 駆動のオートアイリスレンズを使用する場合、DC IRIS を選択します。
シャッタースピードは X2、X4、X8、X16、X32、X64、X128、X256、X512、
X1024、1/60、1/100FLC、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、
1/10,000、1/100,000 より選択します。(ELCTR には AUTO があります)
東日本地域(50Hz)でご使用時にフリッカー(ちらつき)が発生する場合、
1/100FLC に設定して下さい。
工場出荷時は DC IRIS:1/60 に設定されています。

レンズ設定画面

明るさ

明るさの設定を行います。
調整範囲は 0～99 です。

ホワイトバランス設定

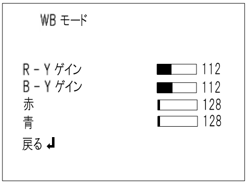
ホワイトバランス設定画面

WB モード

ATW：ホワイトバランスを自動調整します。
R－Y ゲインの数値を下げると赤っぽく、上げると黄色っぽくなります。
B－Y ゲインの数値を下げると青っぽく、上げると黄色っぽくなります。
調整範囲は 000～255 です。（工場出荷時はそれぞれ 112 です）
工場出荷時は ATW に設定されています。

AWC：本機では使用しません。

MANUAL：ホワイトバランスを手動で調整します。



マニュアル設定画面

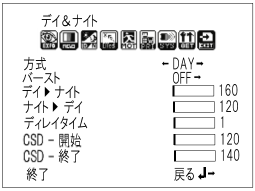
赤 ： 赤色のゲイン値を調整します。
数値を上げると赤っぽくなります。
調整範囲は 000～255 です。

青 ： 青色のゲイン値を調整します。
数値を上げると青っぽくなります。
調整範囲は 000～255 です。

PUSH：特定の対象物に合わせて自動的にホワイトバランスを調整します。
例えば白い被写体を撮像している時に、OSD ボタンの中心を押下げると、
ホワイトバランスを自動的に調整します。

デイ&ナイト設定

照度が低くなると白黒映像に変化させる設定を行います。



デイ&ナイト設定画面

方式

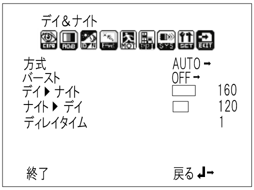
DAY：カラー映像のみで撮影します。(NIGHT 機能を使用しない)

NIGHT：白黒映像のみで撮影します。

AUTO：映像の明るさから判断して低照度時に自動で白黒映像を撮像します。

SMART LED：本機では使用しません。

工場出荷時は DAY に設定されています。



デイ&ナイト – オート 設定画面

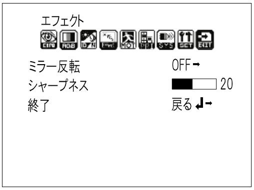
エフェクト設定

ミラー反転

HORI：水平方向を軸に映像を反転します。

VERT：垂直方向を軸に映像を反転します。

ROTATE：時計回りに 180° 映像を回転させます。



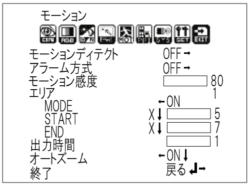
エフェクト設定画面

シャープネス

輪郭の強調具合を設定します。
調整範囲は 0～49 です。

モーション設定

モーションディテクト



モーション設定画面

ONにすると動きを検知した場合にアラームを表示します。
工場出荷時はOFFに設定されています。

アラーム方式

動きを検知した場合のアラーム方式を設定します。
OFF、MESSAGE、AREAより選択します。
MESSAGE：動きを検知した際にアイコンを表示します。
AREA：動きを検知したエリアを画面上に表示します。
工場出荷時はOFFに設定されています。

モーション感度

動体検知の感度を設定します。
調整範囲は0～120です。工場出荷時は80に設定されています。

エリア

動体検知をさせるエリアを指定します。
エリアは4ヶ所設定できます。
MODE：ON、OFFを選択します。工場出荷時はONに設定されています。
STARTとENDはエリアの開始範囲と終了範囲です。

出力時間

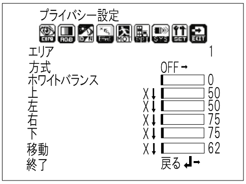
動体検知した際にアラームを表示する時間を設定します。
調整範囲は0～10秒です。工場出荷時は1に設定されています。

オートズーム

本機では使用しません。

プライバシー設定

プライバシーに関連した箇所をグレーマスキングする機能です。



プライバシー設定画面

エリア

マスキングするエリアを設定します。
最大で 8 つのマスクを設定できます。

方式

ON にするとマスキングを行います。
工場出荷時は OFF に設定されています。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを設定します。
調整範囲は 0～7 です。

上

マスキングの上面の開始座標を設定します。
X 軸、Y 軸ともに 0～255 で設定します。

左

マスキングの左面の開始座標を設定します。
X 軸、Y 軸ともに 0～255 で設定します。

右

マスキングの右面の開始座標を設定します。
X 軸、Y 軸ともに 0～255 で設定します。

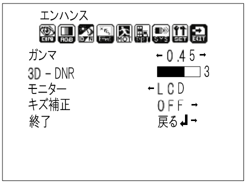
下

マスキングの下面の開始座標を設定します。
X 軸、Y 軸ともに 0～255 で設定します。

移動

マスクを移動します。
X 軸、Y 軸ともに 0～255 で設定します。

エンハンス設定



エンハンス設定画面

ガンマ

ガンマの設定を行います。
設定値は 0.3、0.45、0.6、1.0 より選択します。
工場出荷時は 0.45 に設定されています。

3D－DNR

3 次元デジタルノイズリダクションの設定を行います。
調整範囲は 0～5 です。

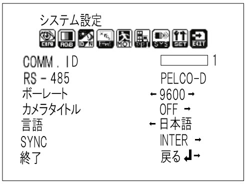
モニター

接続するモニターの種類を設定します。
LCD と CRT より選択します。

キズ補正

AUTO にすると、欠損ピクセルを除去します。
本機は AUTO に設定して出荷しています。

システム設定



システム設定画面

COMM. ID

本機では使用しません。

RS－485

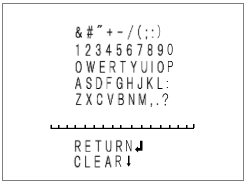
本機では使用しません。

ボーレート

本機では使用しません。

カメラタイトル

カメラのタイトルを設定します。
ON にするとタイトル入力画面が表示されます。
工場出荷時は OFF に設定されています。



タイトル入力画面

言語

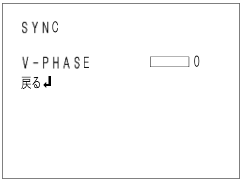
OSD メニューの言語を設定します。
日本語と英語より選択します。

SYNC

本機では使用しません。

V-PHASE

本機では使用しません。



V-PHASE 設定画面

終了設定

終了

設定内容を保存せずにメニューを終了します。

保存して終了

OSD メニューで設定した内容を保存してメニューを終了します。

終了設定画面

出荷時設定

工場出荷時の状態に戻ります。
※ただし出荷時の設定値が無い項目がありますのでご注意下さい。

仕様

型式	TH-D900VP ドーム型 WDR カラーカメラ
レンズ(焦点距離)	オートアイリスバリフォーカルレンズ　f＝3.0-9 mm　F1.2〜360
画角	水平 77°　〜30° 垂直 62°　〜22°
イメージセンサー	1/3 インチ　インターライン CCD
総画素数	52 万画素　1020(H)×508(V)
有効画素数	48 万画素　976(H)×494(V)
撮像面積	4.8(H) x 3.6(V)
テレビジョン方式	NTSC 方式
走査周波数	水平:15.734(kHz)　垂直:59.94(Hz)
同期方式	内部同期方式
映像出力	1.0Vp-p　75Ω
水平解像度	700TV 本以上
S/N 比	48dB
最低被写体照度	0.05Lux(カラー) 映像出力 25IRE　F1.2 / 電子感度アップ OFF 時
AGC	ON / LOW / MID / HIGH
電子シャッター	AUTO、1/60〜1/100,000
ホワイトバランス	ATW / AWC / MANUAL/PUSH
DC レンズ信号出力	DRIVE / DAMP　出力
OSD モード	有り
WDR(ワイドダイナミックレンジ補正)	AUTO / OFF / 20LEVEL
デジタルノイズリダクション	3D　0〜5
電子感度アップ	ON/ x2/ x4/ x8/ x16/ x32/ x64/ x128/ x255/ x512/ x1024
デイ・ナイト機能	AUTO / DAY / NIGHT/ SMART LED
電源方式	①電源重畳式(専用ドライブユニット TH-CCU シリーズ)より供給 ②DC12V±10% ※①②は自動判別
消費電流	DC12V 使用時、140mA(最大)
動作温度・湿度	-10℃〜50℃　湿度 80%以下　(但し、結露しないこと)
質量	290g
外形寸法	φ128　×　98(H)
付属品	取扱説明書、DC プラグコード、ネジ一式

注 1)記載されている規格値等は性能を維持向上するため一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

保守・点検

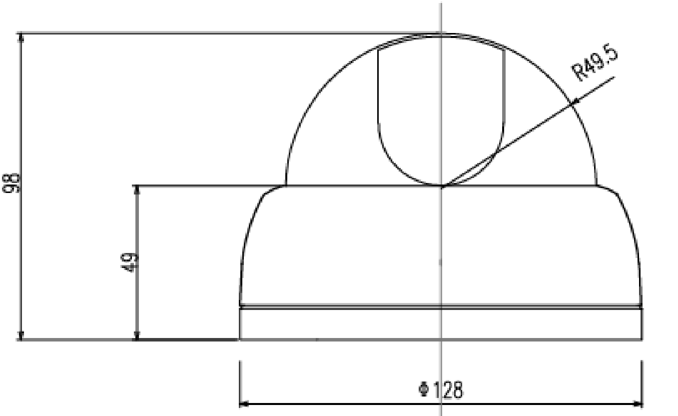
■ 半年に一度はレンズの汚れをふき取って下さい。

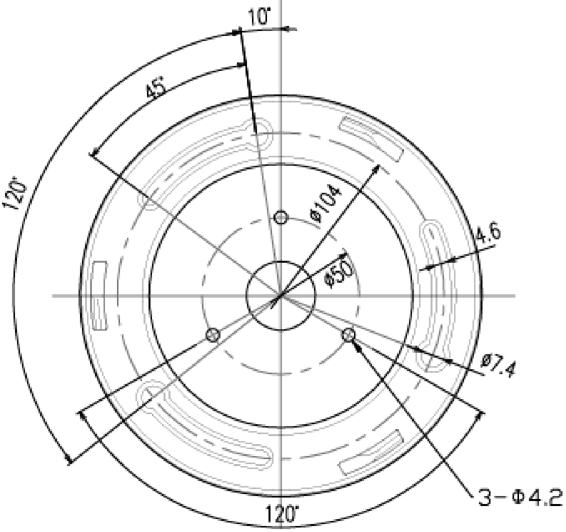
■ 正常な動作をしない場合、下表に従って点検を行ってください。
点検後、正常に復帰しない場合は、ご販売店までお申し出下さい。

異常状態	考えられる原因	処置方法・対策
映像が出ない	カメラの電源の極性(±)が逆に接続されている。	電源を正しく接続します。 ※本体故障の可能性もあります。
	モニター・電源のスイッチが入っていない。	モニターの電源を正しく接続します。
	BNC コネクタ・電源の接触不良。	接触不良でないか確認する。 ※本体故障の可能性もあります。
映像が乱れる	電圧が高すぎる、又は低すぎる。	DC12V±10%以内の電圧に合わせる。
	強いノイズを発生しているもの。 がないか確認する。	ノイズ発生源から離して設置するか、 それ自体を移動させる。
映像が暗い	設定が間違っている。	カメラの設定を正しく行なって下さい。
	照度が低い。	照度が明るくなるよう、照明等を増やして下さい。
	レンズが汚れている。	きれいな布で汚れをふきとります。
映像が明るい	設定が間違っている。	カメラの設定を正しく行なって下さい。
画面がちらつく	カメラが蛍光灯の方を向いている。	カメラの向きを変えて、蛍光灯の映りこみを少なくする。
ピントが合わない	ピントが合っていない。	ピントの微調整を行う。

外形寸法図

単位:mm





取付寸法図

保証・アフターサービス

- 保証書（本書に刷り込まれています。または別に添付しています）はよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日より１年間です。
- 保障期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保障期間経過後の修理につきましても、お買上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 修理のとき一部代替部品を使わせて頂くことや、修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させて頂くことがあります。
- アフターサービスについてご不明の場合、お買い上げの販売店または当社にお問合わせください。

−MENO−

製　品　保　証　書

◇下記の保証・修理規定に基づき、保証致します。◇

- 取扱説明書に従い、日本国内での正常な使用状態で万一故障が生じた場合には、購入された販売店または製造・販売元にて保証期間中、無償修理させていただきます。
- 保証期間内に故障が発生し、無償修理をご依頼になる場合は、購入された販売店、または製造・販売元に製品と本保証書をご提示の上、修理を申し付けください。
- 購入された販売店にて記載事項を正確に記入してください。
- 修理の際には必ず、本保証書をご提出してください。
- 保証期間内でも次のいずれかに該当する場合は、保証の対象外になりますので、ご注意ください。
    - 本保証書のご提示がない場合。
    - 本保証書にお買上げの年月日や販売店の記載がない場合。
    - 本書の文言が書き換えられた場合。
    - 日本国外での使用により発生した不具合の場合。
    - 当社から指定した部品以外の部品を使用し発生した不具合の場合。
    - 使用者の誤った操作により発生した不具合の場合。
    - 天災地変による破損、故障。

製品名	ドーム型WDRカラーカメラ	保証期間
モデル名	TH-D900VP	1年
お買い上げ日	年　　月　　日	年　　月　　日まで
お客様	お名前	
	ご連絡先	
販売代理店	お名前	
	ご連絡先	

※製品ご購入の際、上記の内容を必ず記載してもらってください。

TOHO
CCTV
SECURITY
株式会社東邦技研
〒110-0016 東京都台東区台東2-30-10
台東オリエントビル5F
TEL:03-5816-4678　FAX:03-5816-4540